

## 日本キリスト教会の伝道の課題

伝道局理事会書記 黒田浩史

日頃より大会伝道局をお覚えくださいます、お祈りや献金に心より感謝申し上げます。

大会伝道局では、二つの伝道地への支援の他、大会応援伝道として申し込みのある教会または伝道所に対して伝道礼拝や午後の集会を支援しております。応援伝道につきましては、大会ホームページから申込書や報告書をダウンロードすることができますので、ぜひご活用くださいますようご案内申し上げます。

さて、私共は年に2回理事会を開き、大会伝道地からの近況報告、各中会の伝道状況の報告を受け、課題を共有し協議しておりますが、今回は去る2月の理事会から一部ご報告いたします。

1. 伝道に関しての大会伝道局の基本的な考え方について

「伝道」や「宣教」など種々の言い方がありますが、「伝道」は狭義の意味として、未信者に洗礼を授けて信者を増やす、「宣教」は広義の意味として、福音によってこの世を良くする、というように使われることがあります。大会伝道局は狭義の意味での伝道をその課題としており、大会応援伝道や各個教会における伝道礼拝などはその具体例です。

2. その他、以下は今のところは話題に挙げた程度ですが、各中会からの情報をもとに調査研究をして、全国の諸教会とも関心を共有し、その伝道に役立てばと願っております。

(1) 近い将来において多くの教職と信徒が高齢化ないし減少する問題について。まずはこの現実を多くの人を受け止める必要があります。

(2) オンライン礼拝についての神学的な考察、特に聖餐の可能性について。聖餐を行っているところ

は今のところないと思われませんが、将来的にその願いが高まることもありえますので、果たして可能かどうか、可能ならばその方法について、十分な考察のないまま開始されることのないよう、今から考察しておく必要があります。

(3) 礼拝式順序の標準化について。二つ以上の教会間でオンライン礼拝をする際に、式順序がバラバラだと都合が悪いという問題があります。北海道中会では、細かい違いはあるものの、全教会および伝道所が『日本キリスト教会式文』に掲載されている式順序に近いとのこと。使用している聖書の訳や讃美歌集についても、違っていても不都合がないかどうか、情報を収集しております。

(4) 宣教師の受け入れ方法について。既に中会で受け入れているところもありますが、大会で受け入れたいという話もありますので、大会常置委員会とも連絡を取りながら各中会からの情報を整理しております。

(5) 二つの教会ないし伝道所が合併する際の手続きについて。宗教法人としての手続きや中会内での手続きについての確認や情報交換をしております。

今後も引き続き伝道について協議を重ね、全国の諸教会の伝道に役立ちたいと願っております。

(住吉教会牧師)



# 大会応援伝道を感謝して

イ 李      ビョン 炳      ドウ 斗

下関教会は2023年10月29日（日）横浜海岸教会の上山修平先生を迎えて、大会応援伝道を行いました。大会応援伝道を実施できるように祈りと支援をしてくださった大会伝道局と日本キリスト教会のすべての教会の方々に感謝をいたします。

今回の大会応援伝道礼拝は、韓国教会での経験をもとに実行しました。韓国の教会では総動員主日という用語があります。教会に登録されたすべての信徒たちと教会に一度でも訪問された方々皆を教会にお招きします。様々な理由で教会に出席していない方々でも、こういう機会を通じて再び教会に出席ことになるのを見てきましたのでこれを実践したいと思い祈りをしてきました。

私たちの教会に色々な理由で教会に出席していない方々がいらっしゃるということを知っていました。私たちはこのような方々も伝道の対象だと思い、そのために推薦を受けて上山牧師をお招きすることを決定しました。上山先生は1983年、神学校卒業後、下関教会に着任されました。その後、下関を離れて40年が経ちますが、今でも多くの方々が上山先生の良い活躍を覚えています。

今回の集会では出エジプト記12章12節、マタ



イによる福音書6章13節で「私を支えてくれた聖書の御言葉」という題を持って上山先生のお説教を聞くことができました。特に先生の人生の中であった色々な経験と合わせて御言葉を聞くことができ本当に心に響くお話を聞くことができました。

「矢を射るが外れている」という意味の罪から方向転換して主なる神様に向かうこと、この言葉が先生と家族皆の方向を変えたということ、また「**私たちが誘惑に遭わせず、悪い者から救って下さい**」という主の祈りを通して人生の試練と誘惑を「神を信じ通す」チャンスとして受け入れることについて話してくださいました。

集会後参席された方々と一緒に食事をした後、写真撮影をし、上山先生は参加した方の家を訪問されました。今回の出席者は計29人でした。そのうち、求道者が10名、10名のうち2名は新来者、3名は上山先生の時代以降、教会に出席されていない方でした。そのうち一人の方はその後毎週礼拝に出席するようになり、一人はイースターや教会行事に参加しています。イスラエルは苦境に立つたびに神の助けを経験しました。福音伝道が困難な時代だと言いますが、今こそ神様がどのように働かれるかを見る機会ではないでしょうか？こ

れからも下関教会は神様からいただいた福音伝道の使命を引き続き全うしていこうと思っております。改めて、大会応援伝道ができるように祈りと

支援をしてくださった皆様に感謝をいたします。また神様に感謝をいたします。

(下関教会牧師)

## 最北の地で進む伝道のみわざ

### 北海道中会伝道局

「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。」(マタイ28:19) — この主イエスの宣教への派遣と促しの言葉に、“応えたい”という教会の願いは今も変わることはありません。けれども宣教のための実際の働きが、人々に届き、根を下ろし、実を結ぶに至るまでの困難がいろいろな意味で増しているのも確かです。

けれどもそのような中で今、北海道の最北の地では、ここ数年にわたって宣教の働きが実を結び、教会に加えられる人が年ごとに増し加えられる、という事態が起こっています。

開拓伝道当時から関わり、地域にあって宣教の種まきを続けてきた前任の牧者を2019年に突然天に送った稚内菟見伝道所は、翌年11月、この地での教会の働きに召しを覚えて派遣された浅井永牧師を迎え、新たな歩みを始めました。すると翌年のイースターには、この教会に幼い時から繋がってきた2人の中学生を含む4名が、洗礼を受けて教会に加えられる、という喜びの出来事が伝えられたのです。伝道局では、大きな驚きと感謝と共にこの受洗志願者たちの諮問に立ち合いました。けれど、教会に加えられる人はこの4人に留まらず、その後2022年、23年にかけて、受洗者3名、信仰告白者1名、入会者1名の5名が更に加えられることとなりました。その知らせを受けるたびに、驚きと感嘆の思いを伝えると、牧師は、「前任の牧者がたくさん種まきをしていかれた、それがちょうど今、実っているだけ」とくり返し言われました。それでも、諮問会に赴いて深く感じさ

せられたことは“それだけではない”ということなのです。この群れは、種蒔かれた一人の求道者が受洗に至ることを「教会の出来事」として受け止め、そのために忍耐と愛をもって働きかけ、時に待ち、そして祈り続けてきた。それがこの時、実りとなったのです。

宣教に“こうしたら上手くいく”という方法はありません。けれども、牧師任せでも、神さま任せでもない、宣教に対する「教会としての」熱意と忍耐に裏付けられた取り組みと関わりが、一つの種に実を結ばせるために欠かせないということ、この一つの群れから改めて教えられたように思っています。



### 今後予定されている大会応援伝道

静岡池田教会 7月14日(日)

講師 藤田 英夫(大阪姫松教会牧師)

# 会計報告、教会別献金総額

大会伝道局会計報告

2023.12.31

(1) 通常会計

(単位:円)

科 目	2022年		2023年		2024年 予算(案)
	(1月1日-12月31日)		(1月1日-12月31日)		
	予 算	決 算	予 算	決 算	
(収入の部)					
大会伝道献金	5,459,000	5,365,000	4,879,000	4,954,400	4,495,600
個人団体献金	2,142,110	2,081,490	1,936,560	2,188,090	1,802,470
雑収入	1,000	386	500	298	500
運用資金より	4,237,890	8,613,012	4,333,940	7,002,404	3,851,430
伝道局基金より	0	0	0	0	0
合 計	11,840,000	16,059,888	11,150,000	14,145,192	10,150,000
(支出の部)					
伝道地補助金 注1	7,340,000	7,290,000	6,650,000	6,650,000	6,650,000
大会応援伝道費	1,000,000	305,548	1,000,000	152,646	1,000,000
問安費	600,000	338,004	600,000	800,022	600,000
開拓伝道準備費	600,000	0	600,000	0	600,000
事務費	400,000	326,047	400,000	339,716	400,000
理事会費	900,000	383,800	900,000	1,176,113	900,000
予備費	1,000,000	414,085	1,000,000	0	0
沖縄会計へ	0	0	0	0	0
運用資金へ	0	7,002,404	0	5,026,695	0
繰越金/現在残高	0	0	0	0	0
合 計	11,840,000	16,059,888	11,150,000	14,145,192	10,150,000

注1 「伝道地補助金」(7,340,000円)  
 沖縄伝道所 200,000円×16月=3,200,000円  
 岡山伝道所 200,000円×16月=3,200,000円  
 九州中会への旅費補助 250,000円

2023年度予算案については、大会伝道献金及び個人団体献金について係数により算出した金額

大会伝道局献金報告 2023.12.31

教会名	献金額
函館相生	100,000
札幌北一条	421,200
小樽シオン	66,640
旭川	86,240
北見	51,040
遠軽	35,200
滝川	56,000
聖園	20,600
室蘭	47,520
伊達	26,400
苫小牧	40,480
遠浅	35,200
札幌琴似	78,400
札幌桑園	74,480
札幌豊平	45,080
札幌発寒	64,680
釧路	29,920
札幌白石	33,440
森林公園	52,800
佐呂間	15,840
帯広	26,400
森	4,170
夕張	4,170
美瑛	0
札幌手稲前田	6,950
北桜山	3,000
富良野	9,730
北広島山手	22,240
奈井江	9,730
稚内萩見	20,850
美深	4,170
大森	90,400
蒲田御園	80,360
鶴見	328,880
横浜桐畑	115,640
横須賀	24,640

湘南	70,560
秋田	40,480
柏木	594,400
栃木	70,560
浦和	86,240
房総君津	35,200
横浜海岸	308,880
茅ヶ崎東	103,880
豊島北	40,480
鎌倉栄光	88,200
世田谷千歳	81,160
習志野	88,200
南浦和	68,600
南柏	72,520
東京主僕	49,280
小平	68,600
袋井愛野めぐみ	12,320
東京告白	24,640
仙台黒松	68,600
宇都宮松原	41,100
磐田西	38,720
大和	64,680
上田	36,960
荻窪北	31,680
府中中河原	31,680
上溝	7,000
大宮東	5,560
静岡池田	15,290
恵泉	9,730
東京中央	19,460
金目	6,950
福田堤	21,000
西経堂	20,850
古河	13,900
郡山	11,120
福島	11,120
多摩ニュータウン永山	27,800
志木北	25,500
つくばひたち野	19,460

小山	5,560
名東	96,040
岐阜	129,600
大垣	78,500
大垣荒尾	36,800
亀山	15,840
福井宝永	22,880
吉田	78,400
西都	94,080
高槻	70,560
香里園	80,400
大阪北	62,720
大阪西	88,200
大阪姫松	146,000
北田辺	1,200
池田	94,080
豊中央	72,520
宝塚売布	45,760
西宮中央	228,960
夙川	101,120
住吉	60,760
神戸布引	38,720
神戸湊西	94,080
明石大久保	36,960
新宮	68,800
出雲今市	26,400
尾道西	33,440
広島長束	38,720
徳島	45,760
観音寺	14,080
高知旭	29,920
岡崎	6,560
近江草津	8,340
奈良	6,950
泉北	11,730
神戸桜が丘	12,510
加西	23,630
姫路	9,730
岡山	22,240

米子	13,900
高松	13,900
下関	32,000
大分中央	24,640
小倉	21,800
志免	18,000
福岡城南	162,000
福岡筑紫野	15,840
久留米	28,160
柳川	14,080
佐賀めぐみ	28,160
島原	14,080
折尾	6,950
八女	0
長崎	30,410
熊本	0
沖縄	11,000
宜野湾告白	4,170